



# ジェンダーフリーの トイレや更衣室について

長野県長野工業高等学校 建築学科 小泉ユキ 小林佑月

# テーマ設定の理由

- ・ LGBTとの向き合い方が世の中で問題になっているのに対して興味を持ち、いろいろ調べていたところ、この問題に行きつuitたから。

# ジェンダーフリーとは

- ジェンダーフリーとは、社会的な性別の違いによる役割分担に縛られることなく、一人ひとりが自分の能力を生かして、自由に行動したり生活したりできるようにしよう、という考え方のこと。社会的性別（ジェンダー）から、自由（フリー）になる、という意味がある。

# トイレや更衣室の現状

## 取り組み例

公共施設での誰でも使える  
トイレの設置



# 問題点

- 見た目の性別が自認する性別へ自他ともに認めるほど移行できている場合  
→男女別トイレに入ることには問題はない。
- 男性用トイレは小便器エリアと個室エリアに分かれているうえ、個室の数が少ない。  
→トランスジェンダーの人は、個室を使うため困ることが多い。

# 問題点

- ・ 性別移行中のトランスジェンダーやXジェンダー（性自認→中性/両性/無性）などトイレで嫌な目に遭うことがある。

# 今後の課題

- トランスジェンダー・Xジェンダーの性別移行中の人や中性的な見た目をしている人が、男性・女性・障害者・多目的（オールジェンダー）どのトイレを使っても嫌な思いすることなく利用できるトイレが必要。

## SDGs実現に向けて～10代からの提言～

- トランスジェンダーやXジェンダーなどの様々な人が使うトイレで、だれも嫌な思いをしないために、LGBTの理解を深め、見た目だけで判断するのではなく広い心を持つようにしたらいいと思う。
- 誰でも使えるトイレや更衣室を増やしてほしい。



# 考察・感想

今では、だれでも使えるトイレの設置など様々な人が使えるところが増えていることが分かった。

今回の問題を調べたことにより、自分たちのジェンダーへの理解が深まったと思う。

